2018 AIIT PBL

情報アーキテクチャ専攻
酒 森 PT

榎本 貴文
上條 英樹
高澤 直樹
Dang Duc Chinh
沙魚川 洋平
吉川 泰広

主担当教員：酒森 潔　教授
副担当教員：松尾 徳朗 教授
渡邊 紀文 助教

【産学共同】企業向けエンタープライズ・アジャイル導入の手引き

PBL活動の目標

□ 前期PBL活動の目標

・100人月程度のプロジェクトのマネジメントを正しく実施するための基本（正しいプロセス）を理解し、自身のプロジェクト管理能力を高める

□後期PBL活動の目標

・大規模なエンタープライズ・アジャイル開発のマネジメントを適切に実施するための基本を理解し、企業のニーズに応え、自身のプロジェクト管理能力を高める

・ステークホルダーを巻き込んだPBL活動を実施し、自身のPMコンピテンシーを高める

前期活動： 基本の習得

□模擬プロジェクトの実施

ウォーターフォール型、アジャイル開発型の模擬プロジェクトを実施。各種ドキュメントの作成やレビューを体験

- ➢ 大規模プロジェクトマネジメントの基本を習得
- ➢ PM判断をチームで議論し、新しい視座を獲得
- ➢ 発注者側、受注者側の双方の視点で議論を深化
- ➢ アジャイル開発のコンピテンシーを獲得

□前期活動の成果

獲得したPMコンピテンシーを勤務先での実務に活かす

- ➢ スケジュール調整や投資案件の経営判断等を円滑に
- ➢ リスク管理工数削減、精度向上
- ➢ ステークホルダー同士の意識共有、チームの結束力向上

□前期活動の気づき

模擬プロジェクトがマネジメント要員教育に有用

後期活動：実践（TDCソフト社との産学共同PBL）

□背景と解決策

アジャイル開発への期待の高まり

- ➢ 環境や要件の変化の激しさ
- ➢ 競争の激化、市場投入の迅速化

日本ではアジャイルが浸透しない

- ➢ 顧客企業の理解不足（誤解）
- ➢ 日本の商慣習（受発注、請負など）
- ➢ ベンダー企業にITリソースが集中

企業向けの
エンタープライズ・
アジャイル導入の
手引書を作ろう！

□産学共同PBL活動

- ➢ 共同会議で成果物レビューを実施（TDCソフト社、毎週）
- ➢ 模擬プロジェクト教材を利用し、手引書の品質を向上

【共同会議】

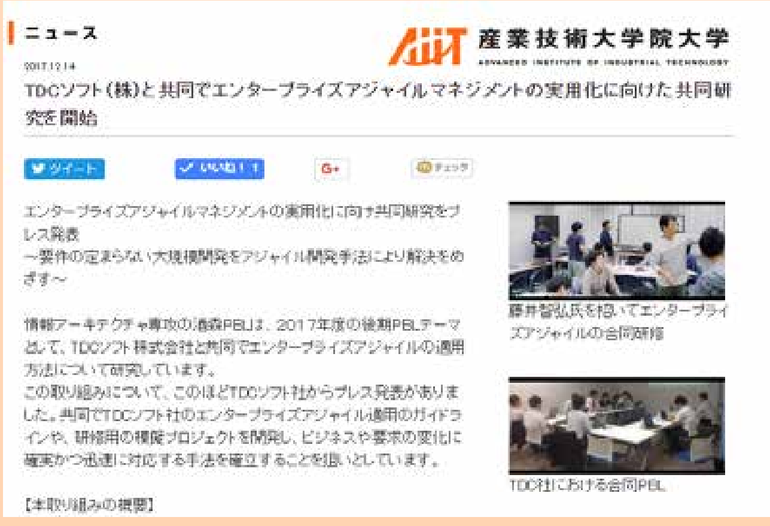
【模擬プロジェクト実施】

□獲得した主なコンピテンシーと活動

コンピテンシー	活動
アジャイル開発マネジメントのスキル	後期PBLをアジャイル形式で運営 トレーニング受講、書籍調査 アジャイル実践者の知識を共有
ファシリテーション	産学共同会議のファシリテート
コミュニケーション	産学共同PBLの実践 ニックネーム、ひとことスピーチ

□プレスリリース

- ➢ 各種メディアに掲載
- ➢ 産学共同PBLへの期待を示す


ニュース

産業技術大学院大学 ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY

2017.12.14

TDCソフト(株)と共同でエンタープライズアジャイルマネジメントの実用化に向けた共同研究を開始

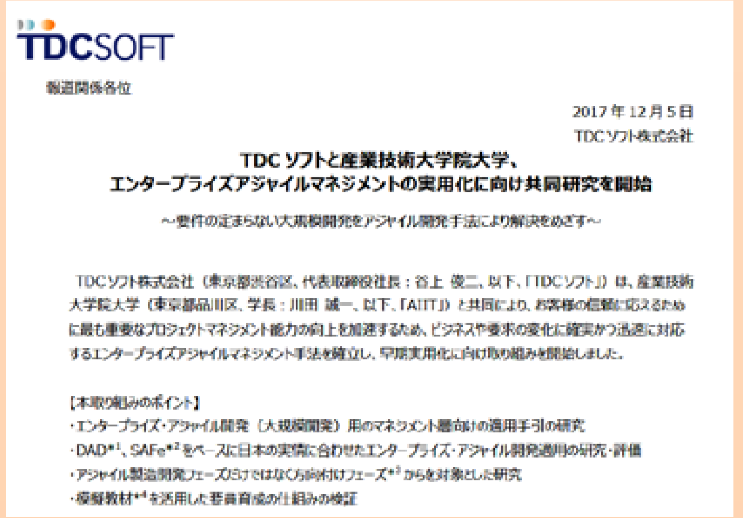
エンタープライズアジャイルマネジメントの実用化に向け共同研究をプレス発表
～要件の定まらない大規模開発をアジャイル開発手法により解決をめざす～

情報アーキテクチャ専攻の酒森PBLは、2017年度の後期PBLテーマとして、TDCソフト株式会社と共同でエンタープライズアジャイルの適用方法について研究しています。
この取り組みについて、このほどTDCソフト社からプレス発表がありました。共同でTDCソフト社のエンタープライズアジャイル適用のガイドラインや、研修用の模擬プロジェクトを開発し、ビジネスや要求の変化に確実かつ迅速に対応する手法を確立することを狙いとしています。

藤井智弘氏を招いてエンタープライズアジャイルの合同研修

TDC社における合同PBL

【本取り組みの概要】


TDCSOFT

報道関係各位

2017年12月5日
TDCソフト株式会社

TDCソフトと産業技術大学院大学、
エンタープライズアジャイルマネジメントの実用化に向け共同研究を開始

～要件の定まらない大規模開発をアジャイル開発手法により解決をめざす～

TDCソフト株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：谷上 俊二、以下、「TDCソフト」）は、産業技術大学院大学（東京都品川区、学長：川田 誠一、以下、「AIIT」）と共同により、お客様の信頼に応えるために最も重要なプロジェクトマネジメント能力の向上を加速するため、ビジネスや要求の変化に確実かつ迅速に対応するエンタープライズアジャイルマネジメント手法を確立し、早期実用化に向け取り組みを開始しました。

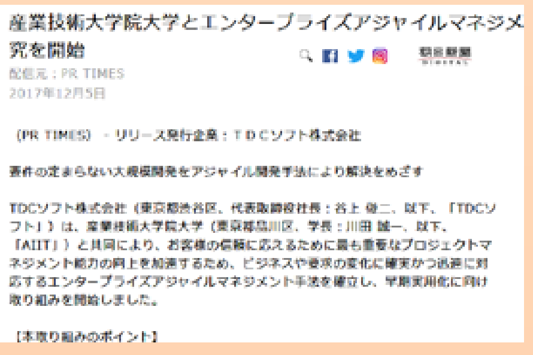
【本取り組みのポイント】
・エンタープライズ・アジャイル開発（大規模開発）用のマネジメント層向けの適用手引の研究
・DAD*1、SAFe*2をベースに日本の実情に合わせたエンタープライズ・アジャイル開発適用の研究・評価
・アジャイル製造開発フェーズだけではなく契約前フェーズ*3からを対象とした研究
・模擬教材*4を活用した要員育成の仕組みの検証

JIJI.COM

産業技術大学院大学とエンタープライズアジャイルマネジメントの実用化に向け共同研究を開始

【TDCソフト株式会社】
要件の定まらない大規模開発をアジャイル開発手法により解決をめざす

TDCソフト株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：谷上 俊二、以下、「TDCソフト」）は、産業技術大学院大学（東京都品川区、学長：川田 誠一、以下、「AIIT」）と共同により、お客様の信頼に応えるために最も重要なプロジェクトマネジメント能力の向上を加速するため、ビジネスや要求の変化に確実かつ迅速に対応するエンタープライズアジャイルマネジメント手法を確立し、早期実用化に向け取り組みを開始しました。


産業技術大学院大学とエンタープライズアジャイルマネジメ
究を開始

配信元：PR TIMES
2017年12月5日

（PR TIMES） - リリース発行企業：TDCソフト株式会社

要件の定まらない大規模開発をアジャイル開発手法により解決をめざす

TDCソフト株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：谷上 俊二、以下、「TDCソフト」）は、産業技術大学院大学（東京都品川区、学長：川田 誠一、以下、「AIIT」）と共同により、お客様の信頼に応えるために最も重要なプロジェクトマネジメント能力の向上を加速するため、ビジネスや要求の変化に確実かつ迅速に対応するエンタープライズアジャイルマネジメント手法を確立し、早期実用化に向け取り組みを開始しました。

【本取り組みのポイント】

□エンタープライズ・アジャイル開発導入の手引き

- ➢ TDCソフト社のシステム開発プロジェクトにエンタープライズ・アジャイル開発を適用させるための手引書

◇アジャイル開発のマネジメント向け
◇整備されていないプロジェクト立ち上げ時期にフォーカス
◇要員教育用の模擬プロジェクト教材を含む

エンタープライズ・アジャイル開発
導入の手引き
TDCSOFT

・海外のフレームワークをテーラリング
・日本独自の商慣習を反映
　- 契約：アジャイル開発の契約を詳説
　- 体制：PMの枠割を明確に定義　など
・ウォーターフォール開発との比較
・顧客が誤解しがちなポイント
・過去の失敗事例と対策

手引書の用途

・顧客へのアドバイスやサポート
・提案書や社内の決裁用文書作成
・社内の要員教育　など

TDCソフト社の評価

- ➢ 参加メンバーのナレッジの取得、模擬教材を含んだ手引書などの成果や社内教育の準備、対外発表など十分な効果がありました
- ➢ 難易度は高いがマーケットのニーズもあり適切なテーマ設定だったと思います
- ➢ アジャイルにおける品質評価など議論をもっとしたかったです

【左：谷上社長、右：酒森教授】

外部発表

PM学会 2017年度秋季研究発表大会論文寄稿　2018年度春季研究発表大会論文寄稿